

第三十四回朝鮮人戦争犠牲者追悼会中止のお知らせ

1989年から毎年行ってまいりました、朝鮮人戦争犠牲者追悼会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、一昨年、昨年に続き、今年も中止することとしました。なお、8月24日（水）午後1時から、世話人と有志で祐天寺納骨堂へのお参りし、塔婆の奉納を行う予定です。お参りをご希望の方は、世話人までご連絡くださいますようお願いいたします。

私達の住んでいる目黒の街に沈んでいる悲しい戦争の歴史をみんなで考え、平和への誓いの日にしようとした追悼会は、今年で第三十四回目となる予定でした。「この遺骨を一日も早くご遺族の許にお返ししたい。」という想いは、第一回追悼会より参加され、鬼籍に入られた近江幸正さん、後藤均平さん、松井勝重さん、文泰福さん、小西悟さん、李鶴来さん、そして参加しているすべての人の想いです。

1970年に祐天寺に寄託された2327体の遺骨は、日韓両政府間交渉がまとまり、遺族が判明した遺骨が2008年1月から2010年5月までの四回にわたり遺族が判明しない遺骨219体も含め、合計423体の遺骨が韓国に返還されました。浮島丸事件の遺骨については、裁判で敗訴後も、遺族の心情もあり返還することができませんでした。残された遺骨は本籍が南の遺骨275体（すべて浮島丸事件のもの）、本籍が北の遺骨425体（このうち5体が浮島丸事件、4体がBC級「戦犯」刑死者）です。

2010年5月以降は、遺骨の返還は行われていません。

追悼会には、1999年から目黒区長より、そして2015年から厚生労働省よりメッセージが届けられています。

残念ながら、日韓、日朝の政府間の関係は良好とは言えない状況です。東アジアの平和と安定のためにも、まず、対話を始めることです。対話を通して、すべての戦争犠牲者の遺骨が、一日も早く遺族のもとに還ることを願っています。

お参りを予定している8月24日は、ロシアによるウクライナ侵略が始まってから、ちょうど半年に当たる日です。いかなる理由があろうとも、戦争で紛争を解決しようとするのは、政治指導者の最も愚かな行いです。ロシア軍には即時撤退と停戦を求めます。ウクライナに1日も早く平和が訪れることを願っています。

来年こそはコロナ禍が終息し、追悼会が再開できますことを願っております。

2022年7月

世話人 金昌鎮 小林喜平 鈴木公一 中沢信一 梁大隆

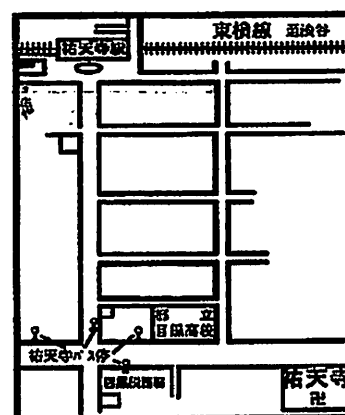
記

祐天寺納骨堂へのお参り

日時 8月24日（水）午後1時より

連絡先 目黒区五本木1の34の2 鈴木公一方
(03)3715-8622

E-mail kihei@tmu.ac.jp



東急東横線 祐天寺駅下車徒歩5分

「浮島丸事件」とは

1945年8月24日夕方、京都府舞鶴湾で爆沈した海軍特務艦浮島丸（4730トン）の事件のこと。浮島丸は、青森県下北地方で働かされていた朝鮮人徴用工とその家族ら約3700人を乗せ、釜山へ向けて8月22日夜、青森県大湊港を出港。しかし、「大海令」により進路を変更して、舞鶴湾に入港しようとした8月24日午後5時20分頃、舞鶴湾内下佐波賀沖で、突然爆発、沈没した。日本政府の発表では、米軍敷設の機雷への触雷が原因で、死者は日本人乗組員25人を含む549人。船体は、スクラップにする目的で1954年に引き揚げられたが、原因究明の十分な調査は政府の手で行なわれていない。